

つながりを切らない
孤立させない
新しいつながり方を提案する



第2号

発行日 2020年4月28日(火)

発行元

「つながりを切らない」情報・交流ネットワーク

〒981-0932

仙台市青葉区木町16-30 シンエイ木町ビル1F (CLC内)

FAX: 022-727-8737 E-Mail: t-net@clc-japan.com

ホームページ: 準備中

- ・民生委員、児童委員の皆さんに…
- ・サロンや地域のボランティアの皆さんに…
- ・配食のお手紙に添えて…

こんなふうに使ってね

この通信の印刷、配布はご自由にご利用ください。記事やイラストの一部を転載・転用する場合は、t-net@clc-japan.comまでご連絡をお願いいたします。

「つながりを切らない」情報・交流ネットワークは、東日本大震災以降、大規模災害が起こるたびに「つながり、地域づくりに関わる方への情報提供・研修に関わってきたメンバーを中心に立ち上げました。感染防止のための対策を講じつつ、全国各地で創意工夫のなかから生まれた『新しいつながり方』を収集・提供し、WEBを活用した交流等に取り組みます。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言があるなかで、それに負けない住民の手によるさまざまな活動が動きだしています。新型コロナウイルスがいずれ終息したそのときにも、こうしたつながりが、各地の人々の生きる支えになると考えています。この「つながる通信」では、そうした活動を広く発信し、各地でお役立ていただく一助となることを願って発行します。

「つながりを切らない」情報・交流ネットワーク
世話人 共同代表 池田昌弘

手書きのハガキで
「気にかけている」
ことを伝える

沖代すずめ（大分県中津市）

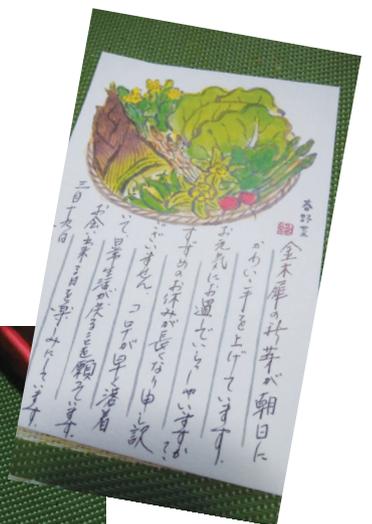
大分県中津市で住民主体のサロンと支え合い活動を進める地域ボランティア沖代すずめ。拠点「沖代寄り合いサロン」など、人と人が密集する活動は、3月、4月と休止が続いています。

代表の吉田日出子さんは、3月には20人ほどの利用者にハガキを送りました。郵便局で花のイラストが入ったハガ



キを購入し、季節の花や体調を気遣う内容を一人ひとりにしたためています。ハガキを見た利用者から電話をもらい、近況を聞くことにも送りますが、別のボランティアの女性が担当されるそうです。

また、ボランティアで手分けして利用者宅にマスクを届け、立ち話をし、家族が手伝いに来てくれている様子などを知ることができたといいます。高齢者がどうサロンのため、なかなか集まることは難しい状況になっていますが、「気にかけている」ことを続けるために、スタッフ同士で知恵を出し合って考えています、と話してくれました。



つながるポイント

- ・手書きのハガキで、一人ひとりに思いを届ける
- ・いろいろな人が「気にかけています」という思いを伝える



会話や声のトーンでその人の暮らしを推し量る

民生委員 明石雅世さん (愛知県名古屋市中区)

明石雅世さんは、名古屋市中区葵学区石神本町で民生委員を務めています。石神本町には、一人暮らしの65歳

以上の方が20人、高齢者のみ世帯が3世帯住んでいます。緊急事態宣言の発令から訪問を自粛するよう通達を受け、顔を合わせて話をする機会がなくなっていました。

明石さんは、ポストに手紙を投函して訪問できない旨を伝えましたが、「それだけでは心配」と電話をかけて、心配ごとなどを聞き取りました。すると、一人暮らしの方からは、外出制限が出るなかでの工夫した暮らしを教えてもらったり、顔が見えなくても声のトーンでその人の暮らしを推し量ることができたと言います。

新型コロナウイルスに関する詐欺のニュースを耳にするたび、町内の対象者が被害に遭わないかという不安がある、と明石さん。そこで、ニュースレターを作成して、配布しています。「デザインを工夫し、多くの人の目に

留まるように」と意気込みを語ってくれました。

TO 様

FROM 石神本町民生委員 明石

2020年4月25日

民生委員からのお知らせミニレター 第1号

4月7日に、非常事態宣言が出され、人との接触機会を8割減ということになり、みなさまは、戸惑いの日々を送っていらっしゃるのではと感じています。先週お電話をさせていただき、つながった方は声を聞いて嬉しく思いました。また、お留守だった方は、ご用事でお出かけのこと、思いを巡らせております。が、こんな時だからこそ、どうにかしてつながりを持ってもらいたい。「お知らせミニレター」を作成しました。不定期に作成しポストに入れておきますので、民生委員からの手紙だと思って、一読いただければ幸いです。

◆新型コロナを「正しく恐れ」、日々の暮らしで気を付けることは?

右図は、専門家会議が示した「日常生活を見直す」10のポイントです。毎日このように過ごすのが理想です。「人にうつさない、うつさない」ための行動と考えると、できることをしてください。そして、もし方が、「おかしいな」と思った時は、遠慮せず、明石までご連絡ください。

人との接触を8割減らす、10のポイント	※各項目1
1. ビデオ通話でオンライン集まり	2. スーパーは1人ずつ入り、お会計はすぐ済ませ、帰る時間を短縮
3. ジョギングは歩道で、公園は早朝・夕方に	4. 待てる際は、列を短く
5. 飲み会はオンラインで	6. 診察は遠隔診療
7. 持ち帰りや自宅での調理	8. 飲食は持ち帰り、宅配も
9. 仕事は在宅勤務	10. 必須はマスクをつけて

コロナ一般相談窓口 東保健センター: 934-1218

◆なにはともあれ、免疫力アップ! 5つのポイント

こまめに手洗いしましょう!

しっかり食べましょう!

身体を動かしましょう!

笑いましょう!

よく寝ましょう!

つながるポイント
声のトーンなど、小さな変化も見逃さないように気にかける
「デザインに工夫をした手づくりのニュースレター」で啓発する

TO 様

FROM 石神本町民生委員 明石

2020年4月25日

民生委員からのお知らせミニレター 第2号

身に覚えがないSMSやメールが届いたら、URLはクリックしないことが大切です。

※コロナ詐欺にご注意を!!

いよいよ、すべての国民に「特別定額給付金」として、現金10万円が給付されます。すると、必ず、役所の担当者になりまされたり、お金をだまし取らうと不審な電話やメールが増えてきます。いわゆる詐欺です。ほかにも、マスク詐欺、消費詐欺、コロナ検査詐欺など、コロナ関連詐欺に注意してください。おかしいと思ったら、警察に届けたり民生委員まで連絡をください。

◆「特別定額給付金」は5月になってから、順次書類が郵送されます。

※流れ(4月23日付中日新聞記事から)
①市区町村が、住民基本台帳に基づき4月27日時点で住民登録している世帯主に申請書を郵送で送ります。
②申請書に必要な事項と必要書類を付けて返送する。もしくは、マイナンバーカードがあれば、インターネットで申請できます。
③指定口座に振り込まれます。
※申請書の書き方などがわからない時は、よろしく、民生委員までお問い合わせください。

これが、詐欺!!

すでに、給付金詐欺が発生しています。電話で相談口を尋ねる手口となっています!! また、「代行手続きをする」といってお金を引き出すらしいです。「給付金の申請では、電話やメールでのやり取りはありません!!」それは「詐欺」!! ですのでご注意ください!!

怪しいと思ったらすぐに相談窓口「188」へ

※「188番」にかけると、近くの消費生活相談窓口(消費者センターなど)を案内してくれます

◆他にも...こんな詐欺が横行しています!

マスク掛け詐欺
注文した覚えのないマスクが家に届き、あとで請求される

検査薬詐欺
新型コロナウイルスの検査薬を10万円で購入

◆布マスク全戸配布

皆さんも存じのように、国のコロナ政策で、布マスクが2枚、ポストに投函されます。順次送るということですので、今しばらくお待ちください。もし、届いたマスクが不良品だった時は? 布マスクの全戸配布に関する電話相談窓口(0120-551-299(9-18時:土日・祝日も実施))にご連絡いただき、住所、氏名、交換が必要な枚数等をお知らせ下さい。となっています。

編集後記

「3密」を避けつつ、いろいろな工夫で人と人とのつながりが続いています。気になる人、仲のいい人、距離は離れても、気にかけて合う気持ちを近づけようと思えばさまざまな取り組みをこれからも紹介していきます。

<各地の実践をお寄せください!>

「つながる通信」では、各地での実践を募集しています。「わがまちでこんな取り組みをしている」「私たちはこんな工夫をして、気になる人とつながっている」、そんな情報を編集部までお寄せください。後日、編集部より電話などで取材をさせていただき、本通信やホームページ等で紹介させていただきます。情報は、E-mail: t-net@clc-japan.com、fax: 022-727-8737まで。E-mailの場合は、タイトルを「情報提供」としていただき、①活動内容、②ご担当者名、③ご連絡先を記載ください。本通信の感想やご要望もお気軽にどうぞ!